

- ・常に読者の事を考えてくださっていると分かり、感動しました。
- ・新聞の読みやすさの工夫についても学習したので、今回教えてくださった工夫を使って、読みやすい新聞を作りたいです。”
- ・ことまどで新聞を自分で作る時は、話で聞いたポイントを使って作りたいなと思いました。時系列ではなくても読みやすい文に変更したりしてもいいとおっしゃっていたので、読みやすい文をなるべく心がけたいなと思いました。
- ・新聞がわたしたちのもとへ届くには、色々な人の手を借りて届いているので、その関わってくれた人全員に感謝して、新聞を読もうと思いました。
- ・他の場所に行って取材するときはどんなことを質問するかなどの事を事前に言っておくといいということがわかったのでこれから新聞委員会でアンケートするときに使いたい。
- ・例えば、見出しを見ただけでもわかるように、要点をつけて見出しを書くなどのポイントを教えてくれたり、取材の仕方、新聞記者さんがしていることなどがわかりました。とくに、要点をまとめることに気をつけることを大切にしたら、ことまどのときに役立ちました！ 新聞記者がどれだけ大変かなどを知りました。とても役に立ったと思います。
- ・記者の普段知ることのないことがしれたし、新聞を書くときのコツなども教えてもらえたから良かった。
- ・私は、新聞委員会なのでお話を聞いてとても役に立ちました。新聞委員会で行事のことを書いたときに文字が埋められなくて、思ったことやしてみたこと、してみたいことを書きました。新聞を書くときに私は、そのことについて詳しく短くわかりやすく書けるようになりたいです。
- ・今まではあまり新聞を読まなかったけどこの学習で新聞の色々なことを知ったから、見るようにしたい。読むときは学習で習ったことを思い出しながら読んでみたいです。新聞を作るときはこの学習を活かして作れるようにしたいです。名刺を持っていたら、普段は入れないところにでも入ることができるときもあると知って、びっくりしました。新聞を作るということはとても沢山の人が関わって、大変なことなのだなとわかりました。
- ・新聞記者は締切が命と聞いたので僕もしっかり締切を守りたいと思いました。

- ・新聞には見出しがあるけど、その見出しが新聞を書く中でとても大切だとわかった。記事を上手にかくには1段落目がとても大切だとわかった。見たものだけではなく、その時のにおい、音など体で感じたことを記事にかくということにすごいなと思った。新聞は間違えたことなどを書いたら絶対に駄目だということがわかった。これから新聞記事を書くときは、体で感じたことも記事に書いていきたいと思う。
- ・私は、森下さんのお話を聞いて一番最初にびっくりしたのは取材をするときに、icレコーダーを持ち運んで自分がききとれなかったことも確認して、聞いたことすべて記事に書けるようにしているということです。他にも、取材をするときにカメラを持ち運ぶということもとても驚きました。あと、取材をしたからにはきらりと光る言葉を新聞に入れる！という気持ちや、丁寧にわかりやすく説明してあげるという細かいところも良いなと思いました。
- ・初めて新聞記者の方と出会って、なぜこの仕事に入ったのかなどを聞いたから良かったです。森下記者から、七つ道具のお話などを聞いて面白そうだなと思いました。森下記者から話を聞いてから新聞社に入りたくなりました。
- ・姫路には、10人はいると思ったけど、7人しかいないことにびっくりしました。見出しは、記事の内容が1目でわかるように書くのがむずかしい。取材ノート、カメラ、ICレコーダー、めいし、あんしょう、パソコンの7つ道具を持っている。取材ノートは、特別なものだと思ったけど普通のノートでびっくりしました。見た目だけでなく五感を書くといいと言っていたので今度ことまどで新聞を作るときにできるだけ五感のことを書きたいと思いました。読者の反応から責任ややりがいを感じるそうです。
- ・森下記者が話をしてくれてもっと新聞に興味をもった。
- ・これから新聞を読むときは、自分が知りたい内容に注目して読みたい。
- ・私は森下記者のお話で一番なるほどと思ったことは、普段会ったことがない人と会えることが一番の楽しみだから、この仕事を始めたと聞いたことです。